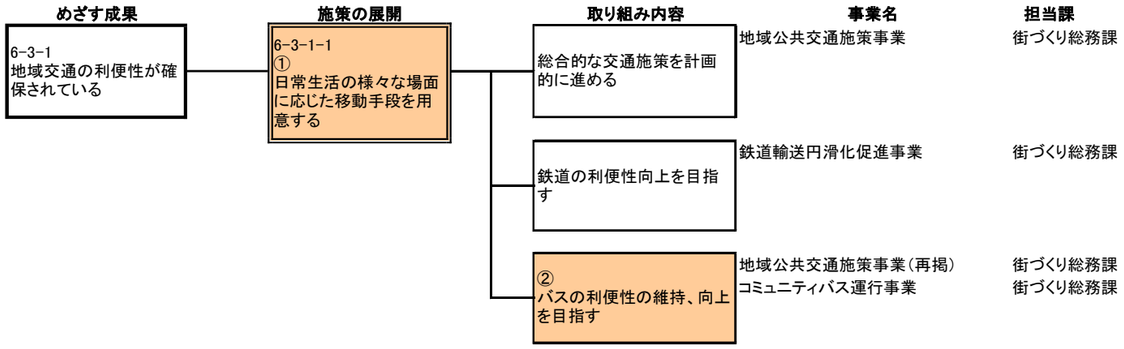
令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

健康領域	まちの健康	
基本目標	６	環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち
個別目標	６－３	誰もが移動しやすい都市をつくる
めざす成果	**６－３－１**	**地域交通の利便性が確保されている**
	６－３－２	自転車を快適に利用している

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



所　管　部	街づくり施設部

【成果を計る主な指標】

指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値（Ｒ１）	実績値（Ｒ２）	中間目標値（Ｒ３）	最終目標値（Ｒ５）
①	大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う市民の割合	７６．１％			７９．０％	８０．０％
②	コミュニティバスの利用者数	７０１，０８１人	７０４，５６２人	５１５，６７１人	７２５，０００人	７３３，０００人

【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】

施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
日常生活の様々な場面に応じた移動手段を用意する	■鉄道駅利用者の安全性を向上させるため、東急田園都市線中央林間駅と相鉄線大和駅へのホームドア整備費に対して支援しました。 ■西鶴間上草柳地域の住民主体の移動手段創出の取り組み（のりあい）について、運行業務をバス事業者に委託しました。 ■コミュニティバス運行の効率性及び利用者の利便性向上のため、「のろっと」へ交通系ＩＣカードを導入しました。 ■「やまとんＧＯ」について、利用者のより一層の利便性向上のため、新規バス停を設置しました。	■新型コロナの感染拡大に伴う公共交通利用者の減少を考慮しつつ、鉄道駅利用者の利便性や安全性の向上を鉄道事業者に要望していきます。 ■のりあい及びコミュニティバスの持続可能なサービス提供のため、利用状況を分析し、利便性が低下しないよう、運行の効率化を図っていきます。